

【情報公開文書】

2019年9月4日作成

Ver.1.0

研究課題名	肺尖部胸壁浸潤肺癌に対する集学的治療と予後の関係の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 腫瘍外科
研究責任者(職名)	永安 武（教授）
共同研究機関	この研究は長崎大学病院のみで実施します。
研究期間	2019年10月22日～2024年12月31日
研究目的と意義	肺癌診療ガイドラインにおいて、切除可能な肺尖部胸壁浸潤肺癌は唯一、術前化学放射線療法後に外科治療を実施する集学的な治療が勧められています。しかし、稀な疾患のために、ほかの胸壁浸潤肺癌と比較すると治療成績に関する報告や、治療法を比較する臨床研究も少ないのが現状です。そのため、当院における肺尖部胸壁浸潤肺癌に対する集学的な治療の成績を検討します。
研究内容	●対象となる患者さん 肺尖部胸壁浸潤肺癌の患者さんで、2001年1月1日から、2019年7月31日の間に、手術を受けた方を対象とします。
	●利用する情報 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、呼吸機能検査）、画像診断結果、病理学的所見 本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
	●研究方法 上記のカルテ情報を用いて、治療法と治療経過についてデータ解析を行います。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：土谷 智史（医師） 長崎大学病院 腫瘍外科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）